

九州地区における実験動物技術研修会の現状とその将来像

九州地区実験動物技術研修会は、公益社団法人日本実験動物協会（日動協）の通信教育での事業を引き継ぎ、九州を中心に活動されている企業の方々のご協力のもと、今回で23回目の開催を終えることができました。九州地区における本研修会は、実技的には基本的に実験動物技術者資格認定の2級技術者レベルを中心とした基礎的な内容となっておりますが、下記に示します九州独自の特徴をもった研修会となっております。

- ① 研修会への参加・受講料が日本一、低額である。
- ② 我が国における実験動物関連の最新情報（動物愛護管理法等の関連情報を含む）を、現実験動物学会理事長より聴講できる。
- ③ マウス、ラット、ハムスター、モルモットおよびウサギといった多種類の実験動物を用いた保定方法から解剖にいたるまで、基礎的な実技実習が経験できる。
- ④ 新旧さまざまな実験動物に関連する器材の観察とその説明を聞くことができる。
- ⑤ 実験動物2級技術者（2級）認定試験に関連する情報を収集することができる。
- ⑥ 九州で活躍されている大学、企業等、所属の異なる方々と人的交流・情報交換できる、

などが九州地区技術研修会の大きな利点であると考えています。

ところで、一般社団法人日本実験動物技術者協会に属する他の支部、すなわち北海道、東北・奥羽、関東、東海・北陸および関西支部を眺めてみますと、九州と同様に各支部の特色をいかした技術研修会が独自に行われています。例えば、関東支部では『動物実験基本手技実技講習会（マウス・ラット）』『マウスの取扱と実験手技講習会』および『微生物統御実技講習会』が、関西支部では『マウス・ラットとウサギ・モルモット上級技術講習会（1級技術者レベル）』および『実験用ブタの取扱手技（入門）講習会』など、技術レベルや対象動物も異なる研修会が毎年定期的開催されています。

これらの事例を鑑み、我々の九州におきましても、2級技術者レベルの研修に加えて、将来的には1級技術者レベルで、マウス・ラット等の小動物以外にもモス・ブタ等の中動物を対象とした実技研修会の開催実現に向けて講師陣の構成も含めて検討を開始したいと考えております。

さらに、本研修会で教えている実験手技等の技術内容につきましても、他の支部や日動協の指導方針との整合性を保てるように努力したいと考えています。具体的には、九州地区の講師陣が日動協主催の研修会や他の支部の研修会に講師として参加し情報交換することで、これらの情報や得られた知識を九州地区の本研修会に還元していきたいと考えております。

最後に、我々の所属母体である日本実験動物技術者協会は、平成29年4月1日より一般社団法人へと組織が変更されました。したがって、本協会は実験動物領域の社会に対してどのような貢献ができるのかが現在問われているように思います。このような状況の中で、本研修会では実技の内容等においても日動協との連携も視野にいれながら、さらには九州地区の実験動物に携わっておられる皆様方の本研修会へのご意見やご要望を聞きながら、本研修会が現状より、より充実したものになるよう講師陣共々努力していきたいと考えております（技術研修会の内容については、毎年、受講生の意見を反映させて少しずつ変更して取り組んでいます）。

皆様のご意見を本研修会に反映させるためにも、ぜひ本研修会へのご意見、ご要望等をお聞かせください。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

| | |
|----------|---|
| 開催日時 | 平成30年9月1日（土）～2日（日） |
| 開催場所 | 熊本保健科学大学 |
| 主任講師 | 浦野 徹 |
| 講師* | 野口 和浩 熊本大学大学院生命科学研究部、生体微細構築学分野 助教（医学博士） 荒木 栄一 株式会社LSIメディンス（実験動物技術指導員） 進村 美穂 KMバイオリンクス株式会社（実験動物1級技術） 若松 真矢 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員） |
| オブザーバー* | 松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科 准教授 大森 正士 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員） 名倉 悟郎 宮崎大学 フロンティア科学実験総合センター 助教（実験動物技術指導員） 中岡 靖雄 株式会社LSIメディンス（実験動物1級技術者） 枝村 仁美 宮崎大学 フロンティア科学実験総合センター（実験動物1級技術者） |
| *敬称略・順不同 | |
| 協力機関** | 日本実験動物技術者協会九州支部、日本実験動物協同組合九州支部、熊本大学生命資源研究・支援センター、熊本保健科学大学、九動株式会社、日本エスエルシー株式会社、株式会社 ケービーティーオリエンタル、株式会社 LSIメディンス、株式会社 新日本科学 * * 順不同購買う |
| 受講者数 | 募集人員：16名（お申込者数：25名（過去最高）） 受講者数：22名（実技協会員：0名、実動協組合員：2名、非会員：20名） |

受講費（テキスト代込み）

会員（日本実験動物技術者協会、日本実験動物協同組合）：4,000円
非会員：8,000円
＜協力機関のご協力により、格安にて研修会の開催が実現しております＞

研修会使用動物種

マウス（成獣及び幼若動物）・ラット・ハムスター・モルモット・ウサギ



九動株式会社・株式会社ケービーティーオリエンタル・日本エスエルシー株式会社より無償にてご提供いただいております。
ご支援誠にありがとうございます。

研修日程

1日目 8:30～17:30

- ① 開講式・オリエンテーション
- ② 概論講義（浦野）
動物福祉、法規、環境条件の基準値、実験動物の分類、遺伝及び微生物的統御の分類等
- ③ 動物スライド供覧（若松）
- ④ 展示物の説明（若松）
- ⑤ ビニールアイソレータ（実物有り）と環境因子測定機器の説明（野口）
- ⑥ 実技実習（野口、大森、荒木、若松、進村、名倉）
（検収、検疫、保定法、性別判定、観察、個体識別、体重測定、臍垢検査等）
- ⑦ 懇親会

2日目 8:00～18:00

- ① 実技実習（野口、大森、荒木、若松、進村、名倉）
（採尿法、除毛法、投与、採血、麻酔法、安楽死法、解剖等）
- ② 質疑応答
- ③ 閉校式（修了証書授与を含む）

